

第134期京都中央労働学校 募集要項

申し込みの手続きは「申込用紙」に必要事項を記入し、受講料をそえて申し込んでください。

募集の定員は、各コース60名です。(定員になり次第×切ります)

講義時間は、午後7時～9時(休憩も含みます)

総合コースは、18回のうち12回以上出席し受講料を納入された方に修了証書をお渡しします。

それ以外のコースは、9回のうち6回出席で修了証書をお渡しします。

テキストは、経済学コース以外はレジュメを準備しております。経済学コースは、マルクス著『資本論』新日本新書 第4分冊を使います。注文の方は、申込用紙の所定へ記入してください。受講料は、総合コースは、10,000円、世界観、経済学コースは、8,400円です。

金額に消費税が含まれています。

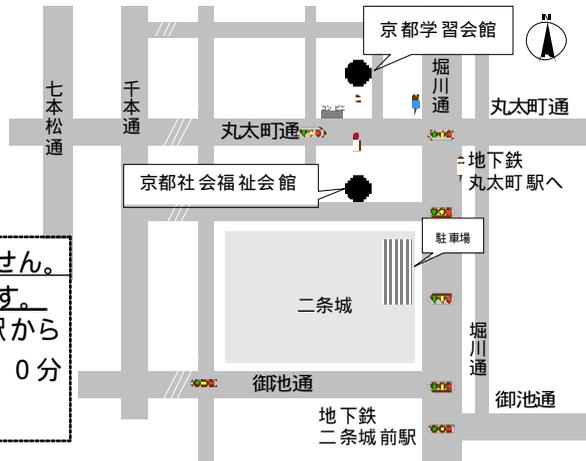
各コースの会場は、『京都学習会館』(上京区堀川丸太町西一筋目上ル)です。

京都学習会館

電話(075)841-8141

FAX(075)821-3665

二・四輪共に駐車場はありません。
二条城市営駐車場へお願いします。
地下鉄丸太町駅・二条城前駅から
『京都学習会館』まで歩いて10分
以内です。



キリトリ

第134期京都中央労働学校 申込用紙				
申込みコースチェック		総合	世界観	経済学
ふりがな		性別	年齢	
氏名:		男・女	才	
現住所				
職場・学園				
労働組合	(全国単産)			
電話: 職場 ()	-	自宅 ()	-	

『資本論』の注文(必要な分冊に) 第1分冊 第2分冊 第3分冊 第4分冊 を注文します。

46年の歴史 3万人を超える受講生

科学的社会主義を学ぶ 労働者の学校

第134期生 募集中!!!

京都中央労働学校 第134期開校式

2009年10月24日(土)

募集コース...全コース夜間(7時~9時)

科学的社会主義の総合コース(火曜・金曜) --林昭・龍谷大学名誉教授 他

科学的社会主義の世界観コース・第2部(金曜) --鯉坂真・関西大学名誉教授

科学的社会主義の経済学コース・第3部(月曜) --上瀧真生・流通科学大学教授

受講料、会場などは最終ページ参照

申込先は.....
京都労働者学習協議会

〒602-8147
京都市上京区堀川丸太町西一筋目上ル
『京都学習会館』内

電話(075)841-8141
FAX(075)821-3665



京都中央労働学校は、科学的社会主義を学ぶ学校です。総合コースは、学校の本科として科学的社会主義を総合的にしっかりと学びます。“理不尽社会”とも“不安社会”とも言われる今の日本社会で、働きがいや生きがいをつかみとるために、どうしても学んで欲しい内容です。学ぶと、私たちの“視点”が変わり、疑問に思っていた問題、矛盾が明らかになります。また、“生きに難さ”、“働き難さ”の根っこにある問題が明らかにされ、そのことによって働きがいや生きがい、働く者がどんな社会的存在なのか、将来展望をハッキリと掴むことができます。総合コースで仲間と一緒に科学的社会主義を学び“羅針盤”をもった人生を歩んでいきましょう。

働くものの未来を学ぶ

科学的社会主義の 総合コース

- 10/24(土) 開校式 労働者の学習... 芦田文夫・立命館大学名誉教授
 10/27(火)-第01課 私たちはどんな時代に生きているか
 10/30(金)- DISCUSSION 第1課と関わってみんなで.....
 11/03(火)-第02課 労働者とは誰のことか
 11/06(金)-第03課 “地獄の沙汰も金次第” 貨幣のはなし
 11/10(火)-第04課 搾取とは
 11/13(金)-第05課 資本主義社会の根本矛盾
 11/17(火)-第06課 *知のESSCENCE 真理とは
 11/20(金)-第07課 現代の“使い捨て労働”とはどういうことか
 11/24(火)-第08課 そもそも「自己責任」とはどういうことか
 11/27(金)-第09課 君の生きてきた時代
 12/01(火)-第10課 *知のESSCENCE 科学とヒューマニズム
 12/04(金)-第11課 この国を「支配」するもの ...日本社会の特徴
 12/08(火)-第12課 *知のESSCENCE 個性は何によって輝くか
 12/11(金)-第13課 環境破壊とエネルギー
 12/15(火)-第14課 *知のESSCENCE 弁証法の方法
 12/18(金)-第15課 労働組合 その性格と任務
 12/22(火)-第16課 世界の“変化”をどうみるか
 12/25(金)-第17課 社会主義とはどういう社会か 労働者階級の歴史的使命



総合コース講師団

櫻田 忠衛・京都大学講師 林 昭・龍谷大学名誉教授 鯉坂 真・関西大学名誉教授
 山本 正志・日本科学者会議会員 井手 幸喜・京都橘大学講師 伊藤 大一・大阪経済大学 芦田 文夫・立命館大学名誉教授

科学的社会主義の世界観コース 第2部 世界を生きいきととらえる

講師は.....
鯉坂 真・関西大学名誉教授

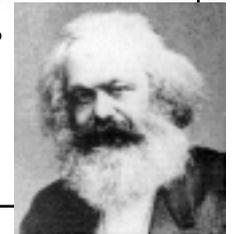
- 10/30(金)-第1課 君は世界を生きいきととらえられるか
 11/06(金)-第2課 弁証法と形而上学
 11/13(金)-第3課 弁証法とはなにか
 11/20(金)-第4課 ヘーゲル弁証法から唯物弁証法へ
 11/27(金)-第5課 弁証法の諸要素
 12/04(金)-第6課 これまでの復習とまとめ 討論会
 12/11(金)-第7課 資本主義の矛盾
 12/18(金)-第8課 認識における矛盾
 12/25(金)-第9課 現代の観念論思想



経済学コース...『資本論』を読む!! 第3部 大きくなっていく資本は何をもたらすか?

講師は.....
上瀧 真生・流通科学大教授

- 10/26(月)-第1課 資本はどうやってもうけをふやすか?
 11/02(月)-第2課 賃金はどのように支払われるか?(1)
 11/09(月)-第3課 賃金はどのように支払われるか?(2)
 11/16(月)-第4課 復習会
 11/23(月)-第5課 生産をくりかえすと資本と働き手の関係はどうなるか?
 11/30(月)-第6課 資本はどうやって大きくなるか?
 12/07(月)-第7課 資本が大きくなると働き手はどうなるか?
 12/14(月)-第8課 資本はどんな歴史をもっているのか?
 12/21(月)-第9課 今日の資本主義と『資本論』



一国民は他の国民から学ばなければならないし、また学ぶことができる。たとえある社会が、その社会の運動の自然法則への手がかりをつかんだとしても、そして近代社会の経済的運動法則を暴露することがこの著作の最終目的である。その社会は、自然的な発展諸段階を跳び越えることも、それらを法令で取りのぞくことも、できない。しかし、その社会は、生みの苦しみを短くし、やわらげることはできる。

起こるかもしれない誤解を避けるために一言しておこう。私は決して、資本家や土地所有者の姿態をバラ色には描いていない。そしてここで諸人格が問題になるのは、ただ彼らが経済的諸カテゴリーの人格化であり、特定の階級諸関係や利害の担い手である限りにおいてである。経済的社会構成体の発展を一つの自然史過程ととらえる私の立場は、他のどの立場にもまして、個々人に諸関係の責任を負わせることはできない。個人は主観的には諸関係をどんなに超越しようとも、社会的には依然として諸関係の被造物なのである。

マルクス『資本論』初版への序言1867年7月25日